



でらボラNAGOYA通信

2016年 4月号

真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク 発行

**2016年3月11日、名古屋別院に勿忘の鐘の音が響き渡った。
呼び覚まされる想い。溢れ来る想い。何をすればいいのか、
どこへ行けばいいのか。あらためて問い直しながら、また走り始める。**

でらボラ委員長より一言

でらボラ NAGOYA の最大の特徴は、活動内容を各自の条件や特性を考慮して個々に決めていることです。募金活動をしたり、支援物資を送ったりもその一つです。また、それぞれがご縁のある場所へ赴き、念珠作り、歌、紙芝居、炊き出しと個々の得意な分野で力を発揮します。でらボラでは、メンバー内で企画、立案し、それに応じて募集をかけ、サポート体制を整えます。色々逸る気持ちはありますが、息の長い支援活動こそ、でらボラ NAGOYA の共通の理念であり、こだわりです。震災から5年。原点に立ち返り、確認しながら、様々な出会いを大切にしながら歩み続けて行きたいと願っています。 でらボラ NAGOYA 委員長 清澤 雅章



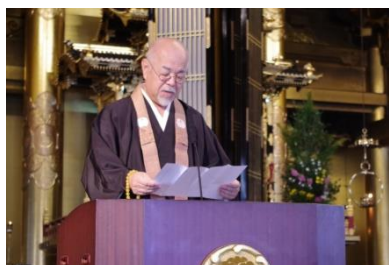
東日本大震災追弔法要 趣旨表明

わすれなの響き

2011年3月11日。5年前のあの日、あなたはどこに居て、何をしていましたか。そして5年経った今、何が、どのように変わりましたか。家や土地、かけがえのない家族を、瞬く間に亡くしてしまった人たち、そして放射能の被害に今も苦しめられる人たち。この震災がなければ、たぶん訪れることもなかった東北の地。私の中で、何かが 変わり始めました。被災された人たちとの出会い、そして寄り添おうとするボランティアの人たちとの出会い、それによって何がもたらされたかを確認しようと、また現地へ行く。私には その繰り返しの5年間だったような気がします。

毎年、この時期になると特集として報道される震災の様子。当時、被災された ある方は、津波にさらわれていく直前の父親の姿がニュース映像に映し出されて以来、この頃の映像を、長い間つらくて見る事が出来ませんでした。今、もう一度確かめようとしておられます。

またある方は自分自身が家の屋根に乗って流されていく映像を、この5年の間、見ることを拒否し続けました。しかし、復興の名によって、すこしづつ現地の姿が変わっていく中で、あの日のことが 忘れ去られていくことに耐えられなくなり、自分自身の いのちのルーツをとりもどそうと、今、その封印を解き、映像を公開して各地の学校を回り、震災の姿を語り続けていこうとしておられます。ここでも何かが少しずつ変わってきているのでしょうか。この場に いのちとして残された自分は、かけがえのない 多くのいのちによってもたらされたものであることを伝えたい、自分だけの自覚ではなく、ともに受け止めた。そこに真の人間の復興を見出したい。私にとって、わすれなの響きは、そのように伝わってまいります。この響きに、静かに耳を傾け 趣旨表明といたします。



名古屋別院本堂にて趣旨表明を読み上げる伊藤氏

2016年3月11日 でらボラ NAGOYA 伊藤 修

人と人が出偶う喜び 震災支援に初めて参加して

13組本住寺坊守の鷲 法子さんが、名古屋別院宗祖親鸞聖人750回御遠忌事業の一環として開かれた、災害ネットワーク研修会に参加された。メディアを通して伝えられるだけだった東北の地を実際に見てみたい。被災された方々の思いを直接に伺ってみたい。まさに「百聞は一見に如かず」が参加の動機だ。

南相馬市、陸前高田市、名取市を3日かけて周る中で、5年前にテレビで見た町の様子とは打って変わり整備が進んでいることに驚いたという。同時に、災害前は新興住宅でひしめき合っていた町が根こそぎ津波で奪われ、住宅の土台のようなものだけが点在している様子や、押し寄せる津波から逃れるために人々がよじ登ったと言われる松を実際に見て、当時の痛ましさがひしひしと胸に迫ってきたようだ。



左手前が鷲さん。隣は名古屋保養に参加されていた渡辺さん。東北へ来ると聞いて駆けつけて下さり、嬉しい再会となった。

また、震災直後の混乱時に、テント、調理器具、材料を持ち運び支援にあたるのは、さぞ、大変だっただろうと労をねぎらいながらも、同行した でらボラメンバーの炊き出しの手際よさ、現地の人と歌やトークで盛り上がる社交術には驚かされたという。

ご自身の体力、体調から研修会への参加は不安も大きかったそうだが、名古屋に戻った時には、現地の方々とのふれ合いが思い出され、もう一度東北へ行き、出偶った方々に会いたいという想いを強くしたようだ。（聞き手 でらボラ NAGOHYA 大谷津 まり）

♪鷲さんが寄せて下さった紀行文を [でらボラ HP](#) で読むことができます

でらボラNAGOYA会員 募集中!

【入会資格】 不要です。東北へ行けない人も名古屋でできることがあります。

【会費】 不要です（募金活動にご協力お願いします）。

【申込方法】 来月12日の「一如さん」の募金スタッフにお声かけください。

【問い合わせ】 mail : derabora758@gmail.com HP: <http://derabora758.server-queen.jp>

これからの活動予定



【シンポジウム「東日本大震災から問われる私」】

時間：4月26日(火) 午後6時から午後8時30分

場所：東別院会館ホール

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】 真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】 00800-8-174946 【支店名】 名古屋橋

※3月の募金額は **80,059**円でした。たくさんのご協力をありがとうございました! ※